

付けた。

【小学校】

- ◆興味深く、具体的な内容で、大変参考になった。
- ◆個別最適化の学びと特別支援教育の充実の必要性や思いが、十分伝わってきた。今後の教育方針の参考にしたい。
- ◆今、学校が抱えている課題にあった講演だった。本校で、もっとできる合理的配慮、一人一人の特性を見出していききたい。
- ◆特性の理解がいじめのない、生きやすい環境づくりにつながることや、誰もが様々な特性をもつ存在であることを、児童に理解させる大切さを感じた。
- ◆『星と虹色なこどもたち』は、児童理解に役立つ資料だと思った。すぐに校内に還元研修したい。

項目2 意見交換会について

【保育所・幼稚園】

- ◆気になる子への対応や、園、学校によっての情報もたくさん聞けて良かった。
- ◆これから必要な連携の構築へのきっかけとなった。
- ◆地域の先生方と顔合わせができ、貴重な時間となった。
- ◆テーマを提示していただいたことで、交換会が活発になった。
- ◆今日の学校情報を生の声で聞くことができ、対面でできることはありがたいと思った。

【小学校】

- ◆近隣の幼稚園、保育園と対面で話すことができ、有意義だった。
- ◆ざっくばらんに話げできた。ハードルを低くして交流を進めていきたい。
- ◆園の方と課題について話し合うことで、互いの相違点について理解を深めることができた。
- ◆活発な情報交換ができ、とても良かった。

項目3 今後の研修会の内容・講師選定など、企画について

【保育所・幼稚園】

- ◆保護者支援（就学に向けての不安解消）や保護者対応について
- ◆実際に役立つ今回のような内容を希望する。
- ◆就学時健診前に情報交換する機会がほしい。
- ◆子どもの学びの環境作り、環境設定の仕方、工夫について
- ◆星山先生の講演を希望（9）

【小学校】

- ◆同じ地域での交流に意義があった。
- ◆星山先生の講演を希望（3）
- ◆家庭教育啓発、保護者との引継について

2 担任対象

(1) 研修会概要

開催日	令和4年7月26日(火) 7月27日(水)
内容	1 講演 【主題】幼保小の円滑な接続を目指して 2 ～スタートカリキュラムの具体例より～ 【講師】練馬区立仲町小学校 校長 米田 典子 2 意見交換

(2) 参加者園(校)数

	校(園)数	出席校(園)数	出席率(%)
区立幼稚園	3	3	100%
区立保育所	60	47	78%
区立小学校	65	57	88%
私立幼稚園	38	25	66%
私立保育所	131	75	57%
認証保育所	17	1	6%
計	314	208	66%

※私立保育所数は、分園数を除く

(3) 研修会アンケートまとめ (主な意見)

項目1 本日の講演について

【保育所・幼稚園】

- ◆スタートカリキュラムについて具体的な内容は知らなかったので学べて良かった。(30)
- ◆4月初めから授業ではなく、幼児期に経験したことをベースに、楽しく小学校へ慣れていくというプログラムがあって安心した。
- ◆小学校での取組や工夫、子どもたちの姿、就学前に求められることなど、具体的に知ることができ、参考になった。
- ◆スタートカリキュラムは、適応指導の側面が強いとばかり思っていたが、小学校を楽しむためのプログラムと分かってよかった。
- ◆幼保小の連携の大切さ、幼児期のたくさんの遊び=学びが、その後の全ての土台になっていることを痛感し、今後の保育内容に生かしていきたいと思った。

【小学校】

- ◆遊び、生活を中心とした園生活を生かして、ゆっくり楽しく生活科を中心とした教科に結び付けていく過程がよく分かり、大変勉強になった。

- ◆幼保から小へスムーズに学びが移行できるためにも、入学時のカリキュラムを見直してみたいと思った。
- ◆スタートカリキュラムの実践は、少し前に戻り、安心して自分を発揮しながら、主体的に学びに向かう子供たちを育てるために必要なことだと改めて感じた。
- ◆生活科を重視しながら、5歳児～1年生の教育活動の仕掛け方、教師の仕掛け方により、子供の大きな力につながっていくことを改めて感じた。2学期、可能なところから改善していきたい。
- ◆スタートカリキュラムのあり方が、区や学校によって違うので難しさもあるが、様々な実践を広めていきたいと思った。

項目2 意見交換会について

【保育所・幼稚園】

- ◆幼稚園や民間園との交流も日頃なく、短い時間だったが情報交換できて良かった。
- ◆小学校の入学後の様子、幼稚園での年長クラスの様子など、自園以外のことを聞き、送り出す側として安心した。
- ◆意見交換を同じ地域で行えたことで、情報を共有でき良かった。安心材料になり、今後、子供たちへの関わりの具体的なヒントになった。
- ◆他園のアプローチカリキュラム、小学校の先生が求めていることなど、参考になった。
- ◆小学校に向けての保育について、色々な方法を他グループの先生からも聞いたかった。

【小学校】

- ◆同じ地区の幼稚園・保育園の先生方と話ができて、良い機会だった。
- ◆5歳児、小学校の取組を話し、新しい課題や希望などを見つけられた時間だった。
- ◆今、いろいろな子供たちが増えているが、地域で共有し、その子の先を見据えて寄り添いながら適切な支援をしていけると良い。
- ◆それぞれの幼保の方針、育てる力、小学校1年生として臨む姿を聞くことができた。
- ◆小中連携の機会（授業体験や参観など）のようなことも、幼保小でもできると良い。

項目3 今後の研修会の内容・講師選定など、企画について

【保育所・幼稚園】

- ◆小学校との連携や情報を知る機会、場が必要。
- ◆小学校の取組だけでなく、幼稚園、保育園の取組についての研修があると良い。
- ◆研修、意見交換を、今後もぜひ継続してほしい。（多数）

【小学校】

- ◆4月に情報交換できる場を、電話より、直接話をする場を設けてほしい。
- ◆幼保小の連携の大切さを改めて感じたので、この内容の研修を継続してほしい。
- ◆米田先生の話をもっと聞きたい。これからの人にも聞いてほしい。
- ◆幼稚園や保育園の園長先生の視点での話も聞いてみたい。